

ご自由にお持ちください

vol.10
2025.7

目次

開院20周年
新システム 事前問診
入職式 新任医師紹介
部署紹介内科クラーク

わ じ ろ び よ り

和 白
白 和

社会は変わる、医療も変わる

テクノロジーの進化は医療分野の変化をもたらす今こそ先端科学を知る医療人へ

令和健康科学大学

令和健康科学大学大学院

2025年
4月開設

看護学部

○ 看護学科

リハビリテーション学部

○ 理学療法学科
○ 作業療法学科

健康科学研究科/医療系健康科学専攻

看護学分野

○ 看護学教育・人材育成コース
○ 実践看護学コース

リハビリテーション学分野

○ 心身機能支援コース
○ 生活支援コース

社会医療法人財団 池友会

福岡和白総合健診クリニック



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘2丁目11-17

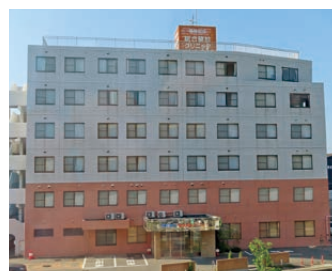
休診日／日曜・祝日・年末年始

FAX／092-607-5504

電話受付／10:00～16:00

<https://www.fw-kenshin.net>

TEL 092-608-0138



「立花山眺望」撮影：院長 山永 義之 雁ノ巣海岸からの眺望です。海の色、山の緑、雲の形、空の青さは常に変わります。それを写すのが楽しみです。

～健康は愛する人と大切な家族とのつながり～



社会医療法人財団 池友会

福岡和白総合健診クリニック

祝 開院20周年

福岡和白 総合健診クリニック



福岡和白総合健診クリニック院長
山永 義之
やまなが よしゆき



院長挨拶

当福岡和白総合健診クリニックは令和7年4月1日で開院20年を迎えました。
平成17年(2005年)に職員数29名でスタートし、現在130名の大所帯となりました。
初年度の受診者数は13,433名でしたが、平成19年(2007年)からは巡回健診を併設し、昨年度は巡回受診者16,000名を含めて48,000名の方が受診されました。“笑顔と真心でより質の高い総合健診をめざす”を理念に掲げ、職員一同力を合わせ頑

張ってきた成果だと確信しております。
健診の目的は①がんの早期発見②生活習慣病の予防です。
これは20年来変わりません。
10年前電子カルテを導入しましたが、コンピューター、ITの進歩に伴い今年4月1日に新しい健診システムの入替えを行いました。
この間機器(CT、MRI、エコー、内視鏡システム、巡回バス等)の入替えも行い、とくにAIの進歩に応じて消化器内視鏡に画像診断支援システムを導入しました。

受診者数の増加に伴い、施設内の改装も行いました。内視鏡室の拡張、照明のLED化、freeWi-Fiの利用等です。
2020年4月に発生したコロナウイルス感染にて運営が大変な時期もありましたが職員みんなで協力して困難を乗り越えることができました。
これからも職員一同力を合わせ受診者の皆様の健康を守るためより一層の努力を続けてまいります。
これからも宜しく願います。



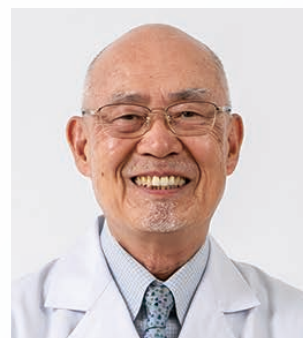
副院長
竹尾 貞徳

開院20周年を迎え、今や西日本を代表する健診センターに成長しました。これからも初心を忘れず、最先端の知識と技術を持って、地域の皆様の健康を支えてまいります。
これからも福岡和白総合健診クリニックをどうぞ宜しくお願いいたします。



副院長
花田 秀幸

当クリニックは今年で創立20周年を迎えます。20年といえ長い年月ですが、過ぎてみると、あっという間の20年だったようにも思われ、感慨深いものがあります。
この20年の間には、画像のデジタル化、電子カルテの導入、Web問診・Web予約の導入など様々な技術革新もあり、健診も日々進化してきております。
これからも当クリニックは皆様の健康づくりのお役に立てるよう努めて参ります。今後ともご支援・ご愛顧の程宜しくお願い申し上げます。



統括乳腺特別顧問
古賀 淳

2004年に蒲池会長のご推荐で和白病院に入職し、乳癌検診にも携わるようになりました。また、乳癌検診の精度管理も任せて頂き、爾来20年でのべ約16万人の受診者から468人の乳癌(うち80%が早期発見)を発見しました。乳癌検診は視触診からマンモグラフィによる検診に、さらにマンモグラフィと超音波併用の検診に移りつつあります。女性では罹患率第一位の乳癌。乳癌検診はこれからも重要性を増していくと思われ、さらに精進するつもりです。



統括部長
田上 真左人

独立から20年、その間、業務・施設・組織改革を重ね、今や九州でも有数の健診施設に。
これからも常に変貌する社会情勢に合う改革を継続し、更に地域に、社会の信頼を得る健診界の革命リーダーとして駆け抜ける有志、また、新たな伝統を築く姿を、敬意と志を持って見届け、期待いたしたいと思います。
全ては[innovation is tradition]のもとに…

福岡和白総合健診クリニック施設概要

昭和62年	7月	和白病院開院(186床) 病院内健診室として健診業務を行う
平成16年	4月	福岡和白PET画像診断クリニック 開院(PETドック開始)
平成17年	4月	医療法人社団 博修会 福岡和白総合健診クリニック 開院 福岡和白病院 新病院移転に伴い、旧病院を健診専門施設へ改装
平成18年	7月 8月	巡回健診開始 在宅療養支援診療所として、訪問診療開始
平成20年	4月	特定健康診査・特定保健指導開始
平成23年	5月 11月	日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価 認定施設 医療法人社団 博修会より福岡和白総合健診クリニックを譲り受け、社会医療法人財団 池友会 福岡和白総合健診クリニックを開設
平成24年	1月	耳鼻咽喉科標榜及び診療開始
平成26年	11月	LANPEX電子カルテシステム導入
平成29年	5月	胃胸部併用車導入(検診車4台)
令和2年	12月	日本初、下部内視鏡AI(CAD EYE)導入
令和4年	12月	上部内視鏡AI導入
令和7年	4月	新システムTHIS導入

施設認定

- ・日本病院会(宿泊ドック)指定
- ・全日本病院協会(日帰りドック)指定
- ・日本総合健診医学会優良総合健診施設
- ・全国健康保険協会生活習慣病予防健診指定施設
- ・健診専門医研修施設
- ・脳ドック学会認定施設
- ・在宅療養支援診療所
- ・人間ドック健診施設機能評価認定

受診者数

※2024年度実績 約47,975人/年間
(施設内 約32,293人、施設外 約15,682人)



事務長
井上 大士

当院が20周年を迎える事が出来たのも、これまで受診頂いた多くのお客様、ご協力頂いた企業様、そして、「笑顔と真心でより質の高い総合健診を目指す」を理念に日々医療に尽力し続けてきたスタッフの賜物であります。心から感謝申し上げます。
今後も医療DXをはじめとする社会情勢、皆様のニーズに応え続ける健診施設として共に成長できるよう、万里一空の精神で取り組んでいきたいと考えております。
これからも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



師長
檜橋 有紀

看護部ではお客様が日々安全に、安楽に健診を受けていただけるよう業務に取り組んでいます。私は師長として直接お客様へ対応できるよう、主に採血を行う処置室におります。業務の中でお客様から有難い言葉を直接頂けることは、私の励みとなっております。感謝しています。
これからも私自身は日本で1番採血が上手な看護師長を目指し、また看護部は時代の変化に対応した看護・保健指導を提供できますよう日々精進してまいります。



2025年4月1日より WEB問診(事前問診)を 始めました

当日の受診効率化を目的として、WEB問診システムを導入しました。
事前にお手持ちのパソコンやスマートフォンを用いて、WEB上での問診の登録が必要となります。事前に問診の登録が無い場合は、受付前にWEB問診の登録を行っていただきます。
(来院後にご登録される場合は、受付までの待ち時間が発生することがあります)

WEB問診のご利用方法

- STEP 1 送付された受診者カードのQRコードを読み取るもしくはホームページよりWEB問診登録サイトを開いて起動します。
受診者カード裏面に記載されているアクセスキー・性別・生年月日を入力してログインします。

福岡和白総合健診クリニック

ログインして問診の登録を行ってください。
このサイトは JavaScript、Cookie を使用しております。ご利用のブラウザで無効にされている場合は有効にしてご利用ください。

問診登録ログイン

問診アクセスキー -

性別 ☐ 男性 ☐ 女性

生年月日 (西暦) 年 月 日

ログイン

- STEP 2 受診項目に合わせた問診票が表示されますので、表示されているすべての問診票に回答します。
※未入力項目があると次頁には進めません。

- STEP 3 最後まで回答し、登録情報に間違いがなければ登録を完了します。

福岡和白総合健診クリニック

ケンシン ヨシコ 様

問診票

①問診票 入力 (2/4) → ②入力内容 確認 → ③問診票 登録 完了

選択中の ☒ は、再クリックで選択解除できます。

特定問診

現在血圧を下げる薬を使用していますか

☐ はい ☐ いいえ

現在血糖を下げる薬またはインスリン注射を使用していますか

☐ はい ☐ いいえ

現在コレステロールや中性脂肪を下げる薬を使用していますか

☐ はい ☐ いいえ

医師から、脳卒中(脳出血・脳梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか

新しく**血液検査**の項目に

BNPとAPOA2アイソフォームを始めました。

Q **BNP**とは？

A 心臓から分泌されるホルモンで、値の上昇で心臓に負担がかかっている状況を反映しており、心不全のマーカーになります。

Q **APOA2アイソフォーム**とは？

A 膵臓がんの腫瘍マーカーであり、CA19-9と併用して検査することが推奨されています。

※ご希望があれば予約時にお申し出下さい



令和7年 入職式

4月3日に入職式が執り行われました。今年度は、医師1名、事務4名の新入職員を迎えることができました。春からは研修を通して、病院や各部署の仕組み、業務など学び、現在はそれぞれの部署で活躍しています！新たな仲間とともに、これからも笑顔と真心でより質の高い総合健診を目指してまいります。



新任 + 医師紹介 +



医師
西野 紀子

自己紹介

今年から、健康づくりのお手伝いをさせてもらっています。自己紹介を兼ねて私の健康法をお話したいと思います。

- ① 体重計に毎日のります。胃は丈夫でつい食べ過ぎますが、体重がある数値を超えたら、数日は食べることを控えるようにしています。
- ② 週末は山に行きます。「歩くこと」つまり運動が目的ですが、季節の花に出会えて心も癒されます。
- ③ 飲み会が大好きです。お酒も好きですが、お喋りすることが一番の目的です。

部署紹介 内科クラーク

私たち内科クラークは、各診察室に配置し、医師の業務が円滑に行えるよう作業の補助を行っています。



内科診察室

撮影画像を見ながら内科医師より当日の検査結果説明を行います。紹介状が必要な方は医師が作成後、クラークが内容の確認、必要なデータなどを準備して完成させます。



脳ドック診察室

頭部MRI検査のご案内をします。安全に検査にご案内する為、身につけているものや金属などを慎重に確認しています。検査後、脳神経外科医師より結果説明を行う為、時間の調整や診察の準備のご案内をします。



PET診察室

PET画像診断クリニックで撮影後、当院にて撮影画像を見ながら結果説明を行います。スムーズに診察のご案内ができるよう、検査の進捗を確認し医師や受付スタッフと連携をとります。



婦人科診察室

なるべく少ない待ち時間でご案内できるよう受付スタッフと調整をしています。婦人科では子宮頸癌検査や経膈超音波検査など行い、検査後の細胞診の検体の提出、検査結果の確認もしています。



内科 クラーク業務

・紹介状準備 ・頭部MRI検査ご案内 ・大腸検査の下剤飲用のご案内
・心臓CT検査の結果説明の時間調整のご案内 ・高次脳検査 ・各検査の医師の読影後の結果確認 など